

第8回衛星開発・実証小委員会 議事要旨

1. 日時

令和3年7月5日（月） 10:00～10:15

2. 場所

内閣府宇宙開発戦略推進事務局 大会議室

3. 出席者

(1) 委員

中須賀座長、片岡座長代理、石田委員、白坂委員

(2) 事務局

宇宙開発戦略推進事務局 岡村審議官、吉田参事官、齊藤参事官、笠間企画官

4. 議事要旨

宇宙開発利用加速化戦略プログラムの戦略プロジェクトについて審議され、資料1の通り選定された。各委員から以下の意見が示された。

○月面利用と同時に、地上での様々な分野への波及、応用なども視野に開発を進めることが重要。特に、エネルギー関連技術は、地上での水素社会、グリーンイノベーションにもつながる技術であり、しっかりと開発に取り組むべき。

○一方で、地上技術の開発そのものは他にも大きな予算事業が存在。効率性の観点からは、低重力など月の特殊環境での実用に向けた技術開発を進めることも重要。

○月のような分野は、技術者の高いモチベーションに繋がる。そういったモチベーションが、突破口となることも期待される。

○日本は個別の要素開発は得意だが、実装が苦手。実装していくためには、誰が全体のコーディネータになるかという点が重要。

○仕様を作り込んでいくことも重要である一方、アジャイル的にスピード感をもって取り組むことも重要。

○月・測位技術は重要であり、早く実証して技術で世界をリードしていくことが重要。同時に、こういった分野は国際連携で進んでいくと予想され、そういった各国との議論という意味でも、日本がリードし、存在感を示してほしい。

以上